



金井沢碑建立1300年記念特別展

くるま
古代群馬の風景
—人びとが結んだ「知識」—



2026 **2/28**[土] — **5/24**[日]

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 月曜日(但し、5/4[月]は開館し、5/7[木]は振替休館)
観覧料 無料(上野三碑のユネスコ「世界の記憶」登録記念)
後援 NHK前橋放送局・群馬テレビ・上毛新聞社・ラジオ高崎(五十音順 敬称略)

多胡碑記念館

〒370-2107 群馬県高崎市吉井町池1085
電話027-387-4928 FAX 027-387-8726





金井沢碑建立1300年記念特別展

くるま 古代群馬の風景

—人びとが結んだ「知識」—

金井沢碑



「車」刻書紡錘車
かみつけの里博物館蔵



「山物部乙万呂」
文字瓦
当館蔵



●金井沢碑

高崎市山名町に所在し、江戸時代中頃に発見されたと伝えられる。輝石安山岩の自然石を調整して文字が刻まれているが、摩滅により読み難い部分があり、読み方や解釈には諸説ある。

●上野国の中枢と文化の中心地

7世紀後半、「車」と呼ばれていた榛名山東南麓一帯は、和銅6年(713年)の「好字二字令」により、「群馬郡」と表記されるようになる。古代群馬の地は、国府や国分寺が設置され、東山道駅路(都からの官道)が貫く上野国の中枢であった。

金井沢碑には、建立者「三家子□」(□は読めない文字)の拠点が「上野国群馬郡」にあったことが記されている。

●知識を結ぶ

金井沢碑の碑文にある「知識」とは、仏教を信仰する集団や、寺院への私財の寄進・労力の提供により功德を積む行為を意味する。上野国分寺跡からは、地名や人名を刻んだ瓦が多量に出土しており、銘文は瓦の寄進者(地域)に関わるとみられている。

「知識」は、律令国家の政策を進めるうえでも重要な行為であった。

関連事業

当館への電話申込(先着順 ☎ 027-387-4928)が必要です。
2月17日(火)午前9時30分から受付開始。

●講演会

日時 | 令和8年3月22日(日) 午後1時30分～午後3時
講師 | 高崎市文化財保護課 田辺芳昭氏
演題 | 菅谷遺跡群からみる古代集落
会場 | 南八幡公民館(山名町167-1) 2階 集会室
定員 | 50人
費用 | 無料

●ワークショップ 拓本体験

日時 | 令和8年 ① 3月27日(金)
② 4月26日(日)
③ 5月16日(土) 各日午前10時～正午
内容 | 昔ながらの方法で上野三碑の碑文パネルの文字を写し取ります。
場所 | 多胡碑記念館 1階 研修室
定員 | 各回15人
対象 | 小学生以上(小学生は保護者同伴)
費用 | 無料

●特別展サイコロトーク(展示解説会)

日時 | 令和8年 ① 3月13日(金)
② 4月11日(土)
③ 5月10日(日) 各日午前10時～(30分程度)
内容 | サイコロを振って出た目のテーマを解説します。
場所 | 多胡碑記念館 2階 展示室
定員 | 各回15人
費用 | 無料

上野三碑一般公開

日時 | 令和8年3月8日(日) 午前9時～午後3時
場所 | 山上碑・多胡碑・金井沢碑 各現地



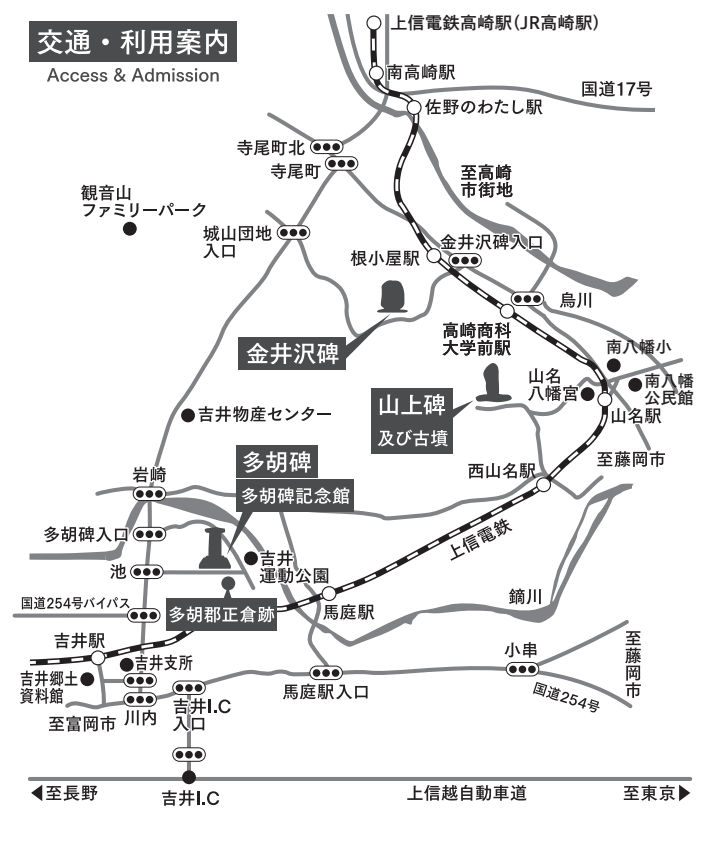
群馬県立歴史博物館

令和8年度春 金井沢碑建立1300年記念展
「金井沢碑 1300年の時を超えたメッセージ」
令和8年4月10日(金)～6月7日(日)開催予定



交通・利用案内

Access & Admission



- 上信電鉄高崎駅(JR高崎駅)から車で約15分
- 上信電鉄吉井駅から車で約5分、徒歩で約30分
よいしバスで約10分(東谷・西吉井線「多胡碑記念館前」下車)
上野三碑めぐりバス(無料)も運行しています。
運行時間やルートは多胡碑記念館のホームページをご覧ください。
- 上信越自動車道 吉井I.Cから車で約7分